

NPO 法人市民科学研究室 & 一般社団法人みんくるプロデュース 共催

第 36 回みんくるカフェ／市民科学講座 D コース第 6 回

認知症について 語り合おう in 文京 その 2 ▶認知症にやさしいコミュニティケア◀

2016 年 **9 月 3 日** (土) 14:00～16:30 (開場 13:30)

■会場：文京区男女平等センター 研修室 D

文京区本郷 4-8-3 本郷真砂アーバンハイツ 1F

電話： 03-3814-6159 【裏面地図参照】

■対象：どなたでも参加いただけます(定員 15 名)

■参加費：お茶代として 500 円を負担ください

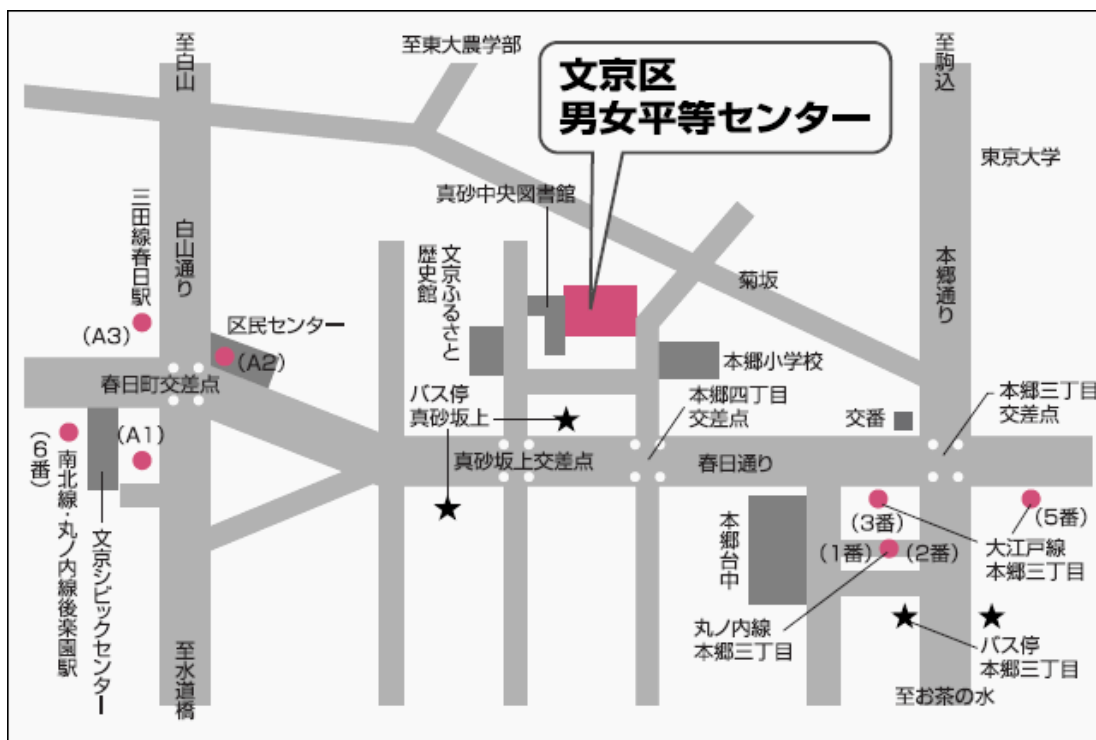
■お申し込み：8 月 31 日までに、以下のいずれかよりお申込みください

①パソコン・スマートフォンより【裏面の「こくちーズ」サイト QR コード】 ②03-5834-8328(市民研事務局)

2025 年の認知症患者は、現状の約 1.5 倍となる 700 万人を超えていると言われています。そのような中、認知症の方を地域の人々が皆で支えていくことの重要性が強調されています。

今回のイベントでは、高齢者あんしん相談センターの方をお招きして、認知症の方を実際に支援する現場ではどのような取り組みがなされているかを伺い、皆さんとともに、地域で認知症の方をどう支えていくことができるかを、対話を通して考えてみたいと思います。





お申し込みは
こちらから



「みんくるプロデュース」とは

「誰もが健康に対して主体的に考え行動できるヘルシー・コミュニティ」の実現を目指して、市民と専門家を対話でつなぐカフェ型コミュニケーションや、地域においてそうした活動を担うことのできる人材育成などを続けている団体です。診察室の中だけでは十分に患者さんの話が聞けないし、本音も語ってもらえない、また医療者の思いも十分に伝えられないと感じるなかで、もっと気軽に健康や医療のことを市民と語り合える場が作れないかと考えたことが、「みんくるカフェ」を始めたきっかけです。今では全国のさまざまな地域で「みんくるカフェ」が開催されるようになり、また、地域に根ざした活動として、まち歩きなどのフィールドワークを通して、地域の健康課題について学び考えるワークショップなども実践しています。【みんくるプロデュース代表・孫大輔】

「市民科学研究室」とは

市民科学研究室は(1) 科学技術にかかわる様々な意思決定や政策形成への市民参加、(2) 様々な社会問題の解決に向けた専門知の適正な活用、(3) "持続可能で生き生きとした生活"のための科学研究や教育の実践、に取り組んでいるNPOです。市民の問題認識力を高めるための講座や勉強会を運営し、市民が主体となった調査研究や政策提言や支援事業をすすめています。リビングサイエンス(=生活を基点にした科学技術)という概念を手がかりに、様々な角度から「生活者にとってよりよい科学技術とは」を考え、そのアイデアを実現していこうとしています。

このイベントに関するお問い合わせは
NPO 法人市民科学研究室 までお願いします
電話：03-5834-8328 FAX：03-5834-8329
メール：renraku@shiminkagaku.org
ホームページ：www.shiminkagaku.org/



このイベントは「JST 科学技術コミュニケーション推進事業 問題解決型科学技術コミュニケーション支援「ネットワーク形成型」平成27年採択課題（「健康まちづくり」を創発する協働型市民フェスタ事業の推進）」の助成を受けています